

2026年4月9日

各 位

当社協賛『ハルノヒ スマイルプロジェクト』
市民公開講座(特別シンポジウム)開催のお知らせ

～ 専門家と考える女性のライフステージ ～

富士製薬工業株式会社(本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、朝日新聞社メディア事業本部が主催する『ハルノヒ スマイルプロジェクト 一女性の更年期、日々の笑顔を取り戻す』に2025年10月より協賛しています。このたび本プロジェクトの一環として、女性に関する更年期のお悩みや向き合い方について、専門家とともに考える市民公開講座(特別シンポジウム)が2026年4月25日(土)に開催されますので、お知らせいたします。



女性の更年期
日々の笑顔を取り戻す

更年期症状(障害)とは、女性ホルモン(エストロゲン)の分泌量が大きくゆらぎながら低下することで、心身に様々な不調が現れる状態を指し、一般的に閉経前後の約10年間にわたってみられます。症状は多岐にわたり、日常生活や仕事に支障をきたす場合も少なくありません。

厚生労働省が2022年に公表した調査によると、更年期症状があり日常生活に影響があると回答した女性の割合は、40歳代で約35%、50歳代で約30%にのぼっています。一方で、更年期症状を自覚してからも「医療機関を受診していない」と回答した女性は、40歳代・50歳代ともに約80%を占めており、適切な対処につながっていない実態が示されています。

また、経済産業省は2024年、更年期症状による労働生産性の低下などを背景に、経済損失額が年間約1兆9,000億円に上るとの試算を公表しました。更年期症状(障害)は、個人の健康課題にとどまらず、社会全体で向き合うべき課題となっています。

「ハルノヒ スマイルプロジェクト」は、更年期症状(障害)に焦点をあて、一般生活者に向けて、更年期症状(障害)に関する正しい理解の促進や、症状に応じた産婦人科受診の重要性、HRT(ホルモン補充療法)を含む適切な対処方法の普及を目的に立ち上げられた取り組みです。本シンポジウムでは、専門家による講演やディスカッションを通じて、更年期を前向きに捉え、自分らしいライフステージを考えるきっかけを提供します。

当社は今後も、医薬品の安定供給に加え、女性特有の健康課題に関する啓発活動への支援を通じて、より多くの方が笑顔で、well-beingを実感できる社会の実現に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

経営戦略本部 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

E-mail: fsks@fujipharma.jp

■ハルノヒ スマイルプロジェクト 特別シンポジウム概要

開催日時: 2026年4月25日(土) 13:00~15:00 (開場 12:30)

参加方法: 下記の専用ページから応募フォームに必要事項を記入の上お申し込みください。

<https://que.digital.asahi.com/question/11018688>

・応募多数の場合は抽選とし、当選者には招待メールをお送りします。

・オンライン参加をお申し込みの方には、視聴用 URL を記載したメールをお送りします。

申込締切: 2026年4月16日(木) まで

募集人数: 会場参加 300名、オンライン参加 500名

会場: ベルサール御成門タワー

※「ハルノヒ スマイルプロジェクト」のウェブサイトは以下をご覧ください。

https://www.asahi.com/ads/harunohi_smile/

プログラム

2024年秋に国立成育医療研究センター内に新しく設立された「女性の健康総合センター」を紹介するとともに、専門家を交えて、女性の更年期の現状や治療について分かりやすくお話しします。

司会	
	フリーアナウンサー 元ヤングケアラー/ビジネスケアラー 町 亞聖さん
オープニング	
	あいさつ 国立成育医療研究センター理事長 五十嵐 隆 先生
クロージング	
	あいさつ 新百合ヶ丘総合病院 がんセンター長 日本産婦人科医会 常務理事 鈴木光明 先生

講演	
	女性の健康総合センターについてご紹介 女性の健康総合センター センター長 小宮ひろみ 先生
講演	
	更年期障害とは?HRTとは? 千葉大学大学院医学研究院 産婦人科学 教授 日本産科婦人科学会 常務理事 甲賀かをり 先生
講演	
	更年期診療の実際 ～クリニックの現場から～ Inaba Clinic院長 稲葉可奈子 先生
講演	
	世界標準と日本の現状 東京科学大学 茨城県地域産科婦人科学講座 教授 日本女性医学学会 副理事長 寺内公一 先生
Q&A	
専門家とのトークセッション 小宮ひろみ先生、甲賀かをり先生、稲葉可奈子先生、寺内公一先生、 進行:町 亞聖さん	